

活動結果報告書

令和7年 10月 31日

越前市議会

議長 大久保 健一 殿

議員氏名 吉田 啓三

下記のとおり報告します。

日 程 R7年 10月 31日(金曜日)

活動先	越前市
活動目的	議会の活動内容を市民に報告するため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

吉田けいぞうリポートNo. 17

・印刷業者 三好印刷

・支払金額 167,200円

・印刷部数 4,000枚



吉田けいぞう

KEIZO REPORT

No. 17

越前市議会
市民ネットワーク

越前市

まちづくり トピックス ～2025年度 主な事業～

介護施設等物価高騰対策支援事業 1,379万4千円

事業所の安定的な運営を支えることで、高齢者や障がい者が安心して必要なサービスを受けられるよう、電力需要の高まる夏場と冬場の電気料金高騰分を支援します。

- 1 補助対象 介護・障がい福祉サービス事業所
- 2 対象期間 6か月分(令和7年7月～9月、令和8年1月～3月)

3 補助額

区分	補助額 (単価は6か月分の支援額)
入所系	3,600円×定員
通所系	2,880円×定員
訪問系	23,700円(1事業所当たり)



保育園等物価高騰対策支援事業 1,219万8千円

民間園の安定的な運営を支え、園児が安心して必要な保育を受けられるよう、電気料金高騰分を支援します。また、保護者に負担増を求めることなく、給食の質を維持していくため、食材費高騰分を支援します。

1 電気料金支援 1,732千円

- (1) 補助対象 民間園18園 (2) 対象期間 R7.7～9月、R8.1～3月
- (3) 補助額

区分	補助額 (単価は6か月分の支援額)
高圧施設	840円×定員
低圧施設	700円×定員



2 食材費支援 10,466千円

- (1) 補助対象 民間園16園、公立園7園 (2) 対象期間 R7.10～R8.3月
- (3) 補助額 4,500円/月※ ×24%×園児数(3～5歳児)×6か月

※食材費保護者負担額

ひとり親家庭等自立支援事業【大学等受験料助成】265万円

ひとり親家庭等の経済的負担を軽減し、こどもの進学に向けたチャレンジを後押しするため、大学等の受験料を支援します。

補助経費 大学、短期大学、専修学校(専門課程)、
高等専門学校(編入学)の受験料

補助対象 次のいずれかの世帯に属する者

- ・児童扶養手当受給世帯
- ・ひとり親家庭等医療費助成受給世帯
- ・住民税(均等割)非課税世帯

補助額 こども一人当たり 上限53,000円



中学校施設営繕事業【学校体育館空調整備】1,420万円

災害時の避難生活、学校授業、部活動及び学校開放活動時の熱中症対策として、学校体育館に空調設備を整備します。令和8・9年度は中学校の整備を先行して行い、小学校についても令和10年度から順次整備していく予定です。

まずは、3つの中学校
(実施設計委託料)

<整備計画>

【一中・五中・南越中】

R7年度 実施設計

※R7.9月補正

R8年度 工事

【二中・三中・万葉中・六中】

R8年度 実施設計

R9年度 工事

【小学校】

R9年度～ 実施設計

R10年度～ 工事



▲体育館に設置された空調設備(視察した愛知県清須市)

脱炭素社会実現事業 228万3千円

PPAによる太陽光発電設備を導入する小学校プールにおいて、設備が早期完了見込みとなったため、PPAサービス契約(※)の開始を前倒しする。

PPAサービス契約
開始の前倒しに伴う
光熱水費(5か月分)
の予定です。

- 1 対象施設
白山小学校プール
南中山小学校プール

- 2 開始時期
令和7年11月～

※PPA(電力購入契約)とは、再生可能エネルギー事業者が電力の使用者(企業や自治体等)の敷地などに発電設備を設置し、発電電力を電力使用者に売却する方式



▲南中山小学校 太陽光発電設備

観光推進事業(宿泊施設整備) 3,000万円

越前和紙バレー創造事業

寿屋の改修

- 1 目的: インバウンド、富裕層をターゲットとして、福井の伝統的工芸品を仕入れた魅力的な空間で非日常を味わえる特別なサービスを提供
- 2 客室数: 1部屋(最大4人部屋 → 最大6人部屋)
- 3 工事概要: 壁紙:越前和紙、浴室:笏谷石
- 4 宿泊アトラ: 「対碧亭」での食事、伝統工芸工房見学
- 5 工事スケジュール: 11月着工、R8.2月末完成



現在の状況



改修後

越前和紙バレー創造事業

SUKU(2棟目)整備に向けて

- 1 住所: 若本町 ※建物購入、土地借地
- 2 延床面積: 187.30㎡
- 3 客室数: 2部屋(最大6人部屋、最大3人部屋)
- 4 ターゲット: 和紙事業者に関わる問屋・業者の長期滞在可能型



自転車活用推進計画概要版 計画期間：R7年度～R11年度

策定の目的

市民の健康増進や自家用車に頼りすぎない社会の実現、観光振興等による交流人口の増大につなげるため、自転車活用推進計画を策定し、子どもから高齢者まで幅広い世代の市民が利用でき、環境にも優しい身近な交通手段である自転車のさらなる利用促進を図ります。

計画の位置付け

本計画は、自転車活用推進法第11条の規定に基づき、国や県の推進計画、本市の総合計画及び関連計画と整合性を図り、本市の実情に応じた自転車活用に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る計画として位置づけます。



自転車活用推進計画概要版 計画期間：R7年度～R11年度

基本理念

自転車であつたが 幸福実感のまち越前市

【3つの基本方針と施策】

基本方針1

安全で安心な
自転車環境の保全・整備

- ・安全で快適な自転車通行空間の保全・整備
- ・公共交通機関との接続強化
- ・自転車利用者の交通安全教育・啓発の推進



基本方針2

自転車を利用した
ライフスタイルの推進

- ・日常的な利用に向けた広報啓発
- ・近距離の自転車利用の促進
- ・自転車に親しむ機会づくり



基本方針3

サイクルツーリズムの推進

- ・サイクルツーリズムの受入環境の整備と拠点づくり
- ・サイクルツーリズムの推進に向けての情報発信



走行部への対策(例)
・舗装の破損による段差の解消
・排水溝のタイヤ挟込み解消

交通安全教室
ヘルメット着用の啓発

交通安全教室
ヘルメット着用の啓発

自転車を利用したイベント

自転車の駅
Cycle Aid Sta.

9月議会一般質問

改正道路交通法による自転車運転の変更点について

【質問】 今回の改正は子供たちが対象となる法律のため、注意して違反の取り締まりを実施してほしい

【答弁】 高校生にもよくみられる「ながらスマホ」や「傘さし」「二人乗り」「イヤホン装着運転」日常的にやりがちな交通違反をしないこと、知らなかったでは済まされない制度であることを認識してもらいたいと考える。

自転車の交通違反と反則金(2026年4月1日から)	
ながら運転	12,000円
遮断踏切立ち入り	7,000円
信号無視	6,000円
逆走・歩道通行	6,000円
一時不停止	5,000円
ブレーキが利かないなど	5,000円
傘さし・イヤホン使用	5,000円
無灯火	5,000円
2人乗り・並走	3,000円

【質問】 車道における自転車専用レーンの導入は考えているのか

【答弁】 一般的な自転車道には、縁石や柵などの工作物によって区分された車道の部分や「矢羽根型」と呼ばれる青色でペイントされた路面が多いため今後検討する。

自動運転実証実験の取り組みについて

【質問】 二回目の実証実験となるが将来的にレベル4での運転は可能なのか

【答弁】 今後、走行環境の整備や実証が必要であるが、いずれは今回のルート全てでレベル4での運行は可能であると考えている。

【質問】 実証実験を繰り返し将来的な自動運転バスに対する市の見解は？

【答弁】 自動運転技術の社会実装は、運転手不足解消だけでなく、交通事故削減や渋滞緩和、物流効率化など社会全体の課題解決や、生活の質の向上に必要不可欠なものである。



▲自動運転バスEVO

自転車歩道通行が可能なケース

道路標識や道路標示で歩道通行が認められている場合

13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者、一定程度の身体障害のある人

著しく車道の交通量が多い、車道の幅が狭いなど通行すると事故の危険があるとき

ごあいさつ

日ごろ皆様には大変なご支援、ご支持を賜り、厚くお礼申し上げます。地方議員の立場から、地域社会の将来ビジョンを描く中で、市民一人ひとりが感じる「幸福度」の向上を追及していく思いを強くしています。地域でのお困りごと、行政への要望等どんなことでも結構です。皆さんのお声をお聞かせください。



越前市議会議員 吉田けいぞう

活動結果報告書

令和7年11月12日

越前市議会

議長 大久保健一 殿

議員氏名 吉田 啓三

下記のとおり報告します。

日 程 令和7年10月27日(月曜日) ～令和7年10月28日(火曜日)

活動先 ① 長野県長野市役所
長野市鶴賀緑町1613

② NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター
長野県泰阜村6342番地2

活動目的 ① 人口減少社会を見据えた公共施設の再編調査
② 「暮らしの学校いだらぼっち」「山賊キャンプ」など、
人と自然が混じりあう暮らしの中で、人として大切な「ねっこ」を育
む体験型教育や、
自然の中での暮らしは「楽」 じゃないけれど、自分たちで作るからこ
そ最高に「楽しい」 キャンプの調査

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 （不足のときは、補助用紙を用いる。）

① 長野市 人口減少社会を見据えた公共施設の再編

長野市の人口は約360,000人。越前市の4倍から5倍の規模。
長野市の公共施設の総面積は164.3万平方メートル。前年比比べて450平方メートル減
少している。長野市では、公共施設の再配置を進めるために、令和7年度現在までの公
共施設マネジメント推進課を局に格上げし、公民連携推進局として業務に当たっている。
公民連携推進局は、2つの課で構成し、部長相当職の局長を置く。局の職員数は、9人。
長野市の公共施設は、学校教育施設が全体の36%、市営住宅等が全体の14%等で、建物
の約半分は学校と市営住宅。

建物は 40 年以上経過した施設の割合が 36%。高度成長時代に整備した建物が一斉に改築更新を迎える。そんな時期です。またオリンピック開催時に建てられた施設も改修が必要な時期を迎えている。

長野市では、今の施設を将来にわたり維持していくために財源を確保し続ける事は、極めて困難。公共施設の量と質について、全身的総合的な視点による見直しを図り、最適に維持管理していく方針、公共施設マネジメントが必要と判断している。

このために次の 4 つの基本方針を立て推進している。

- 1、施設総量の縮減と適正配置の実現
- 2、計画的な保全による長寿無料化の推進
- 3、効果的、効率的な管理運営と資産活用、
- 4、全長期的な公共施設マネジメントの推進

所感

推進にあたり、施設の複合化や機能化を進めている。集約化を進めている。例えば児童生徒の減少に対応し、既存の中学校校舎への集約化だ。小学校と中学校とを一体的な活用を進めている。

もう一つは長寿命化。これまでの目標使用年度数を 60 年から 80 年に延長し、改修を進めている。

本市においても、少子化の中、望ましい学校運営のためには、小学校の地区を超えた再編と中学校を含めた小中一体の教育環境の検討が必要と感じた。

越前市内においても小学校の統廃合が検討されており、今後の議論において第一に子供たちが安心できる環境をどう整備していくかのあるべき姿を追求していただきたい。

② NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター

長野県泰阜村は人口 1500 人の小さな村。長野県の南に位置し、飯田市の隣の村。コンビニもなく、信号機もなく、国道も通らず、大型バスも入れない。産業といっても耕作可能な農地は少なく、限界集落どころか、消滅の危機にある自治体ともみられる泰阜村。

ところが、NPO法人グリーンウッド自然体験教育センターがこの村に根を張り、都会の子を集めて、山村留学を始め、山村教育が地域活性化に大きな影響を与えている。いじめ、仲間外れ、不登校などなど、子供を取り巻く環境が困難な状況。このような中、このNPO法人は、自然や仲間と暮らす教育をど真ん中に置き、「自ら生み出す心」、「楽しむ心」、「感じる心」を育みます。そして、この山村教育が評価され、夏休みには子供や、ボランティアなどの参加者によ人口が 2 倍になる。消滅危機自治体の再生をも、期待できる状況。

「思い通りにならないことを楽しむ」

自然、人間関係、暮らしは、自分の思い通りにならないことばかり。今日、何がしたい。お昼のご飯のメニューは何にする。自分たちで決めろと言われても、みんな思いがあり、一緒ではありません。時計をなくし、時間がゆっくり流れる環境をつくり、自然と向き合い、仲間と話し合い、信頼関係を築きあいながら物事を進めて行く大切さを肌で感じ

る山村留学やキャンプを学びました。

所感

テレビも無い携帯電話も無い生活を今の時代にできる子供はいないと思います。

私たちもそうですが、そういった生活の中で自分を見つけることができる大切な時間を過ごしていると感じました。必ず大人になり、この時の時間や人たちを思いだし成長していけるようになると思います。

記録写真



長野県長野市役所
議場



NPO法人グリーンウッド
自然体験教育センター



NPO法人グリーンウッド
自然体験教育センター

長野市等視察の政務活動費の支出について

令和7年10月27日～28日

長野県長野市役所

・人口減少社会を見据えた公共施設の再編

NPO グリーンウッド自然体験教育センター(長野県泰阜村)

・「暮らしの学校いだらぼっち」「山賊キャンプ」など

人と自然が混じりあう暮らしの中で、人として大切な「ねっこ」を育む体験型教育

自然の中での暮らしは「楽」 じゃないけれど、自分たちで作るからこそ最高に「楽しい」 キャンプ

① 宿泊+日当 長野市等視察研修宿泊(8280 円)+日当(1600 円) = 9,880 円

宿泊上限 15000 円(長野県)

領収書別添

② NPO 法人グリーンウッド自然体験教育センター視察研修費 = 3,000 円

領収書別添

合計(政務活動費からの支出額) ①+②= 12,880 円

様式第 5 号（第 7 関係）

備 品 台 帳

議員名 吉田 啓三

取得年月日	番 号	品 名	規 格	取得価格（円）	購入先	廃棄年月日	備 考
令和6年1月28日	R5吉田1	パソコン	14型LAVIE N14 NEC	149,524	ケーズデンキ	年 月 日	

〔備考〕 「番号」は、年号、通番とし、備品に明示すること。
取得価格 1 万円以上で概ね 5 年以上使用できるものについて、登載すること。